

未来創造会議(第1回議事録)

■日時:令和8年3月31日(火) 13:00~13:45

■場所:中之島センタービル 29階及びオンライン

■議事次第

- 1.開会
- 2.未来創造会議について
- 3.最先端技術等の実装化・産業化に向けて
- 4.閉会

■出席者(敬称略): (※)オンライン参加

《委員》

松本 正義 公益社団法人関西経済連合会会長【代表】
鳥井 信吾 関西商工会議所連合会会長・大阪商工会議所会頭【共同代表】(※)
三笠 裕司 一般社団法人関西経済同友会代表幹事
武田 家明 近畿経済産業局長
三日月 大造 関西広域連合広域連合長(※)
吉村 洋文 大阪府知事
横山 英幸 大阪市長

《オブザーバー》

松山 泰浩 経済産業省首席国際博覧会統括調整官(※)

《来賓》

井野 俊郎 経済産業副大臣(※)

【関西経済連合会 関専務理事】

お待たせしました。ただ今から会議を開始します。本日は年度末のお忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。本日、司会進行をつとめます、関西経済連合会の関です。どうぞよろしくお願いいたします。

大阪・関西万博が多くの人の支えにより、有形・無形問わず、多岐にわたる成果を結実させました。これらの成果を一過性のものにせず、大阪・関西、ひいては日本経済の持続的な成長につなげるためには、大阪・関西における万博レガシーを活かした取組をオール関西で推進する必要があることから、この度、経済界、国、関西広域連合、大阪府、大阪市のトップマネジメントによる会議体として、資料2のとおり、未来創造会議を設置させていただくことになりました。会議の委員については、時間も限られていますので、お手元の「資料3 委員名簿」の配布をもって代えさせていただきます。

それでは、開会にあたり、松本代表にご挨拶をお願いします。松本代表、よろしくお願いいたします。

【松本代表】

みなさん、こんにちは。関西経済連合会の松本です。

現在、経済産業省による万博の成果検証委員会において、万博の成果のまとめと検証、万博の理念・記憶の継承や万博の成果を社会実装する制度的枠組みの検討、および、剰余金の活用方針の検討が進められています。

私自身としては、今回の万博では、世界中から約160もの国が集い、文化、芸術、ビジネス等多くの面でリアルな交流・協力の輪が広がったこと、そして各国、企業、多様な参加主体が考えるいのち輝く未来社会が提示され、その実現に寄与する最先端の技術やサービスを来場者が体感したこと、大阪・関西の国際的な発信力を高めたことという点で、大変大きな成果があったのではないかと考えています。

関西は、歴史的に見ても、豊富な伝統・文化を持ち、多様な価値観を受け入れながら、進取の気性を持って発展してきた地域です。その関西が、自らの強みと万博開催の成果を踏まえて、新たなビジネス、文化、芸術等の創出・交流の核として国際的に大きな役割を担えるようになることが、関西のみならず、日本全体にとって極めて有益であり、万博レガシーの柱にもなると考えています。

この度、経済界、国、関西広域連合、大阪府、大阪市のトップによる未来創造会議を設置し、オール関西で万博レガシーを展開する体制を構築します。後ほど事務局より詳細の説明がありますが、まずは、最先端技術等の実装化・産業化に取り組みます。今後、支援していく分野ごとに、時間軸そして支援内容について検討を深め、国の成長戦略17分野等の政策パッケージと連携しながら、中長期的に大阪・関西のプロジェクトを支援していく体制を整えていきたいと考えています。

また、大きなレガシーとして広域観光も挙げられます。関西観光本部が中心となって、関西一円の広域観光を高みに引き上げる体制を整えつつありますが、オール関西で広域観光を盛り上げていく必要があることもここで強調したいと思います。

将来的には、未来創造会議の運営団体を法人化したうえで、万博の剰余金をまとめて承継し、大阪・関西における万博レガシー事業の財源として活用していくことも考えています。

この度の未来創造会議の設置にあたり、これまで企画・調整にご尽力いただいた皆様には心より敬意を表します。また、本日は、経済産業省から井野経済産業副大臣と、松山首席国際博覧会統括調整官にもお越しいただいています。わが国の成長・発展に向けて万博の成果を生かしていくという観点から、国の政策パッケージと連携した枠組みとしていただくことを期待しています。

本日は、オール関西で万博レガシーを展開していくキックオフとなる重要な会合です。私自身、大阪・関西万博の誘致から開催に携わってきました。万博レガシーを後世にしっかり継承・展開して、大阪・関西、ひいてはわが国の発展に向けて微力ながら尽力していきたいと考えています。本日は、よろしく申し上げます。ありがとうございます。

【関西経済連合会 関専務理事】

松本代表、ありがとうございました。それではこれより、未来創造会議の議事進行について、松本代表にお願いします。松本代表、よろしく申し上げます。

【松本代表】

はじめに、本日は、国会中かつ中東情勢でお忙しい中にも関わらず、オンラインでご出席いただきました、井野経済産業副大臣からご挨拶を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。

【井野経済産業副大臣】

経済産業副大臣の井野俊郎です。第1回未来創造会議の開催、誠におめでとうございます。大阪・関西万博は多くの来場者を迎え、成功裏に閉幕しました。その成果をレガシーとして残していくことはとても重要なことです。

政府においては、昨年末に立ち上げた成果検証委員会でレガシー展開の議論を進めており、地元の大阪・関西におけるレガシー展開が具体化することが重要な一歩です。

未来創造会議において、関西の産業界と行政が一体となり、国も関わるトップマネジメントの体制ができたことは大変心強い限りです。まさにこれは検討中の地域未来戦略の政策的な方向性にも合致するものと考えており、経済産業省としてもしっかりと後押しをしていきます。

大阪・関西が強みを持つ分野の実装化・産業化が実現することを通じて、万博レガシーの取組みが全国的に波及することを期待し、私からの挨拶とさせていただきます。本日は誠におめでとうございます。

【松本代表】

ありがとうございました。次に、「資料4 未来創造会議について」、この間、地元自治体を代表して国との窓口として調整いただきました、大阪府の松井政策企画部長より説明をお願いします。

【大阪府 松井政策企画部長】

大阪府政策企画部長の松井です。「資料4 未来創造会議について」を私からご説明します。

まず、資料1ページ目をご覧ください。設立趣旨を説明します。オール関西・オールジャパン体制で取り組んできました大阪・関西万博は成功裏に終えることができ、多岐に渡る成果を結実させました。これらを一過性のものとせず、レガシーとして引き継いでいく必要があります。そして、いのちをテーマとする万博を通じ一貫してめざしてきた、革新的技術や新たな価値の創造による持続的な成長・発展、世界が直面する課題解決への貢献、さらには、大阪・関西のプレゼンスの向上の実現等につなげ、万博レガシーによる大阪の成長を将来にわたって確固たるものとしていく必要があります。こうした対応のため、オール関西の知恵を結集し、国の協力も得ながら、万博のレガシーを継承・発展させ、大阪・関西のあるべき未来像を実現する体制として、この度、未来創造会議を設立しました。

2ページ目は、その考え方をイメージ図で表したものです。

3ページ目には、未来創造会議の委員構成について、先ほどの名簿を再掲しています。

4ページ目、当面のスケジュールをご覧ください。当面は、本日、参考資料で配布している国の成果検証委員会での議論も踏まえ、最先端技術等の実装化に向けたプロジェクトや支援方針等を決定、推進するとともに、国際イベント・交流等の継承・発展や、夢洲におけるレガシー発信等の取組状況の確認等を行っていく予定です。

資料5ページ目をご覧ください。未来創造会議の運営です。未来創造会議を運営し、その進め方や会議に諮る事項の課題整理等を行うとともに、会議で決定した取組を推進する団体として、運営委員会を設置します。また、未来創造会議が将来にわたり、持続的に取組を推進していくための体制として、新たな法人の設立に向けた検討を、この委員会で進めていきます。委員会の構成は資料のとおりで、委員長は関西経済連合会に務めていただくこととしています。本日の会議の後、事務局を立ち上げ、第2回会議に向けた準備・検討を進めていきます。

6ページ目をご覧ください。今後の進め方です。今後の進め方としては、本年5月中旬頃に開催を予定している第2回会議に向け、委員会において、1つ目として、この後、資料5で説明します最先端技術等の実装化に取り組む分野やプロジェクトリーダー等の決定について、2つ目として、新たな法人設立に向けたスケジュールや、法人設立までの間に会議で決定いただく事項等について、3つ目として、国際イベント・交流の継承・発展や夢洲におけるレガシー発信の取組等の今後の進め方についての検討を進めます。

以上、簡単ですが、私からの説明は以上となります。ご審議の程、何卒、よろしくお願いします。

【松本代表】

ありがとうございました。ただ今ご説明いたしました件について、ご意見やご質問のある方は、挙手をお願いします。いかがでしょうか。

【経済産業省 松山首席国際博覧会統括調整官】

経済産業省の松山です。日頃よりありがとうございます。今日はリモートで失礼します。

まず、この第1回未来創造会議の設立、開催にあたりお祝い申し上げます。これまでも皆様方に大変助けていただき、万博の実施、遂行からその後の成果検証まで様々なお知恵、お力を頂戴しているところです。

国としては、成果検証委員会を開催して万博レガシーの基本方針を議論しているところですが、先ほどもご紹介がありました、万博で創られたつながりをいかに活用していくかということ、そして万博を契機とした創造活動を深化・展開させていくということ、そして、夢洲という場の記憶というものを次の時代に継承し展開していくこと、この3本の柱で整理しようと議論を進めているところです。こういうことが、この未来創造会議での取組、方向性と合致し進めていく形で今準備が進んでいることについて、我々も大歓迎しています。

この会議において、大阪・関西が持っている次世代モビリティや再生医療等の技術の実装化、産業化の支援、これのみならず万博を機に開催された Global Startup EXPO 等、国際イベントの継続的な実施、さらには万博会場である夢洲の場の記憶の継承の活動というものが今日お集まりのオール関西のトップの方々が一体となって推進していく、こういう体制が取られ議論が進んでいくということに対して、大変我々も期待しています。

万博のレガシーの活用は日本全国で進めていかなければならないのですが、その中で特に開催地である大阪・関西の取組が、全国のリーダーとなり牽引役となることを期待しているところです。この取組を機に、日本全国に取組が進んでいくよう、引き続き大阪・関西の皆様方と密接に連携を取っていきたいと思いますし、国としても精一杯臨ませさせていただきます。どうぞよろしくお願いします。

【松本代表】

どうもありがとうございました。それ以外にご意見がある方は挙手をお願いします。よろしいですか。
それでは、議事に関して、承認することとしてよろしいでしょうか。

【一同】

異議なし

【松本代表】

ご異議がないようですので、この議事について、原案通り、「承認」とさせていただきます。

それでは、次の審議に移りたいと思います。「資料5 万博で披露された最先端技術等の実装化・産業化」について、この間、最先端技術の実装化に向けて、国や経済界との調整役を担っていただきました大阪府の馬場商工労働部長よりご説明をいただきます。

【大阪府 馬場商工労働部長】

大阪府商工労働部長の馬場です。今回取り扱う万博で披露された最先端技術の実装化・産業化について、ご説明します。資料5をご覧ください。

まず始めに、実装化に取り組む分野について説明します。実装化に取り組む分野については、近畿経済産業局が昨年6月に作成した関西における成長分野ポテンシャルマップ並びに国が昨年11月に選定した17の重点投資分野で挙げられた分類・項目を考慮し、関西が強みを有する分野の中から、ここには想定として次世代モビリティ、再生医療、カーボンニュートラル、スタートアップを例示しました。これらも含めて、必要に応じて、構成団体からのご意見をふまえ、第2回未来創造会議において決定したいと考えています。

次に、2ページをご覧ください。先行して取り組むプロジェクトですが、この会議ではイメージとしてあげています。左上の次世代モビリティは、万博会場において、空飛ぶクルマの機体展示やデモフライトを実施したところであり、この間、認知度や社会受容性の向上、運航や離着陸場運営のノウハウが蓄積していることから、例えば、商用運航に向けた取組として、運航ネットワークの形成やサプライチェーン構築支援等に取り組むことを想定しています。

再生医療は、iPS 細胞由来の心筋シート等を活用した再生医療の実装化に向けた研究開発や、万博での展示を通じ、社会受容性の向上に向けた情報発信等を実施しました。本年3月には、世界で初めて条件及び期限付き承認されたことから、例えば、この実装化に向けた取組として、企業とのマッチングや大学・研究機関同士のネットワーク構築に取り組むことを想定しています。

カーボンニュートラルについては、万博会場において、ペロブスカイト太陽電池や CO2 吸収・固定型コンクリートが活用された他、再エネ水素を使ったメタネーションの実証が行われる等、社会実装へのイメージを提示したところでありまして、この波を活かして、関西から日本を牽引するような、今後具体的なプロジェクトを検討してまいります。

右下のスタートアップですが、万博会場で開催されたGSE2025やリボンチャレンジ等において、スタートアップ企業等が開発した最先端技術等を世界に向けて発信したところであり、世界が注目する今、例えば、ディ

ープテックに関するエコシステムの形成や、ポストGSEの開催、新事業共創ファームの運営を中心にオール関西で取り組んでいきます。

3ページをご覧ください。今後の検討事項についてご説明します。運営委員会において、有識者や分野に精通した方等のご意見もふまえながら、関係者と調整を行い、第2回会議に向けて、実装化に取り組む分野や、個別のプロジェクトリーダー、プロジェクトの選定基準について協議、検討を行い、次の第2回会議でこれらを決定していきたいと考えています。具体的には、委員会で有識者等のご意見や関係者と協議・調整の上、実装化に取り組む分野、プロジェクトリーダーとプロジェクトの選定基準案を策定。その後、リーダー候補のもと先行プロジェクトを選定し、支援方針を作成して第2回会議において決定していただきたいと考えています。なお、プロジェクトにつきましては、関係団体等からのご意見を受けて、今後決定される選定基準のもと、以降の会議において順次決定していくこととしています。

最後に4ページをご覧ください。参考として実装化に向けた支援体制についてご説明します。こちらイメージですが、今後、会議のもとで、府県の枠を超えてオール関西がもつヒト・モノ・カネの機能を結集し、実装化の支援体制を構築したいと考えています。具体的には、各プロジェクトの関係団体で構成する推進組織に加え、分野の特性に応じて、実装化を強力に牽引するための旗頭となるプロジェクトリーダーを配置し、そのプロジェクトリーダー又は推進組織が、分野ごとに、ロードマップを作成のうえ、直ちに支援に着手する。そして、プロジェクトを統括、進捗管理、牽引する仕組みになります。また、ロードマップに則り、会議で決定するプロジェクトとその支援方針に基づいて、委員会が取組を支援していくことを想定していますが、今後プロジェクトリーダーや推進組織を決定し次第、それぞれの分野の特性に応じた支援体制を構築してまいります。以上で説明を終わります。ありがとうございました。

【松本代表】

どうもありがとうございました。只今ご説明いたしました件について、ご意見、ご質問がある方は挙手をお願いします。

【武田委員】

武田です。本日は、近畿経済産業局長、そして、松本会長、吉村知事とともに取り組んだ誘致活動以来約9年、大阪・関西万博に経済産業省において最も長く取り組んできたものとしてここに臨んでいます。

資料5の1ページに記載のとおり、わが近畿経済産業局は、万博開催前からレガシーを見据えて、万博で披露された新技術や成長分野について経済界、自治体、関係官署の皆様と議論を重ね、昨年6月に関西の成長分野・ポテンシャルマップを公表しました。他方、昨年11月から、従来ご紹介にある通り、政府においては、地域未来戦略の検討を進めています。関西地域におきましては、近畿経済産業局が中心となり、本日ここにいる皆様と、戦略産業クラスター形成に向けた議論を行ってきました。現在、ポテンシャルマップと、戦略17分野を踏まえ、万博レガシー実装化を念頭に、空モビリティ、バイオ・ライフサイエンス、GX等の分野について先行的に議論を進めています。先週、近畿経済産業局が開催したクラスター計画検討会議において、計画の素案の方向性に概ね同意が得られたところです。

また、分野横断的な要素として、スタートアップによるイノベーション創出基盤の強化も重要だと考えています。

近畿経済産業局においては、明日4月1日付でスタートアップ推進室を設置します。スタートアップ創出・育成に向けた取組や、環境整備の強化を図るとともに、ここにいる皆様と連携しながら、Global Startup EXPO を通じ、スタートアップ・エコシステムのグローバル化を推進します。

このように、本日ご説明があった実装化スキームと、戦略産業クラスターの枠組みを、しっかりとリンケージさせ、万博レガシーの社会実装を着実に推進していきます。ありがとうございました。

【松本代表】

どうもありがとうございました。それでは、リモートで挙手されています、井野経済産業副大臣、ご意見よろしくお願ひします。

【井野経済産業副大臣】

経済産業省の井野です。大変恐縮ですが、個人的な見解をお話させていただくと、万博での日本館の展示物に、藻の可能性が示されていました。私も、展示を担っていただいた「ちとせ」という会社と、当時話をさせていただきましたが、大変将来性を感じる技術だと感じています。特にバイオテックという分野になると思いますが、日本館という記憶がまだ新しいうちに、それがどういう可能性があるのかを、我々政府としても国民の皆様に理解していただく。あの展示が一体何だったのか、どういう意義があって、どういう可能性があるのか、なかなかあの展示だけでは理解できなかったかと思ひますので、ぜひ藻の可能性、即ち、一言で言ってしまうと、石油に代わる代替商品になり得る可能性があるものだと私は理解しています。ましてや、今、このオイルショックとも言えるような状況なので、ぜひこの藻の可能性をもうちょっと多くの国民の皆様に理解いただけるような取組があってもいいのではと感じています。以上です。

【松本代表】

どうもありがとうございました。それでは大阪商工会議所から願ひします。

【鳥井共同代表】

大阪商工会議所鳥井です。未来創造会議のもとに、万博で披露されました先端技術の実装化に向けて、プロジェクトや、支援体制を検討いただき、大変嬉しく思っています。大阪商工会議所としては、関西商工会議所連合会の会員19万社、関西71の商工会議所のネットワークを活かして、オール関西の力を結集して、様々な先端技術の実装化をともに実現していきたいと考えています。

また、万博の大阪ヘルスケアパビリオンで、432社の中小企業、町工場、スタートアップがそれぞれの技術革新、イノベーションの試作、製品を展示しました。この432社に関しても、未来創造会議のもとで、万博レガシーとして、まずは大阪、京都、神戸の3商工会議所で立ち上げる新事業共創ファームにおいて、開発、実証等、海外展開まで一貫して支援していこうと考えています。私からは以上です。

【松本代表】

はい、どうもありがとうございました。続いて、三笠委員。

【三笠委員】

関西経済同友会の三笠です。よろしくお願いします。私ども関西経済同友会では、11月に万博レガシー委員会の方から提言を出させていただき、その中で、万博理念継承のために、一刻も早い組織の設立を求めてきましたが、先ほど、当会議が設置され、大変、心から歓迎します。

万博で披露された最先端技術の実装化等については、関西の強みを踏まえた分野設定と、プロジェクト型で進めていくという考え方は、大変実効性かつスピード感がある取組だと感じています。

関西経済同友会でも、来週早々に、カーボンニュートラル委員会の方から、関西におけるカーボンニュートラルバリューチェーンに関する提言をさせていただく予定です。また、新年度の次期事業計画で、万博レガシーの社会実装に向けた産業政策についての提言をする委員会を立ち上げたいと思っています。これらの委員会の提言が、微力ですが、今回のプロジェクトを後押しする一助となればと考えています。以上です。

【松本代表】

三笠委員、どうもありがとうございました。他に、ご意見ございますか。それでは、議事に関して、承認することよろしいでしょうか。

【一同】

異議なし

【松本代表】

ありがとうございます。ご異議がないようなので、この議事について、承認とさせていただきます。

次に、本日ご出席の方で、いろいろご意見があるかと思いますが、ぜひ挙手をして、ご意見をいただきたいと思います。では、吉村委員から。

【吉村委員】

大阪府知事の吉村です。本日は、松本会長を代表にして、関西の経済界、また、近経局、大阪府市、広域連合、国も交えてオール関西でこの未来創造会議を立ち上げることができたことを非常に意義深いと思います。またこれから重要な役割を担うということになります。

万博は、多くの皆様、2,900万人の方が来場され、そこでは様々な技術が紹介されました。万博で紹介された技術を実装化していく、また、産業化していく、そのための未来創造会議、そして事務局、非常に重要ですし、これから万博のレガシーを実装化させていきたい、レガシーとして、実装化させていきたいと思っています。

思えば、1970年万博は、ワイヤレスフォンがスマホとなり、動く歩道が今では生活の日常にもなっています。今回の大阪・関西万博でも、空飛ぶクルマであったり、iPSの心臓であったり、またカーボンニュートラルの技術であったり、バイオ技術であったり、エネルギーであったり、様々な技術が紹介されました。これら万博で紹介された技術を社会実装して、そして次の豊かな社会に繋げていく。これが重要だと思っています。その役割を担うのが、未来創造会議だと考えています。そのため、具体的に事務局ともしっかりと連携して進めていくことが大事だと思

っており、プロジェクトリーダーの選定、そしてまたプロジェクトをどういう風を選定していくかの基準、そういった具体的な方向性をぜひ次回の会議までにまとめてもらえたらと思います。

また、今日は副大臣、ご出席ありがとうございます。経産省も主体となって、国の成果検証委員会が行われています。この中で万博のレガシーや成果について検証が行われています。こことも連動させながら、この未来創造会議をより具体的なものにしていく。その上で新たな法人の設立に向けた動き、これも次回会議でぜひ確認していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

多くの皆様が万博を愛してくれて、そして多くの皆さんが万博に来てくれました。そこで技術に、多くの皆様に夢と希望を感じることができた万博だと思っていますので、ここからさらに大事なこととして、技術の実装化、産業化していく。そして次の豊かな未来社会に繋げていくということが重要だと思っていますので、未来創造会議を通じて、実現させていきたいと思います。オール関西で頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

【松本代表】

ありがとうございました。それでは横山委員。

【横山委員】

本日、この万博のレガシーを未来に継承していくために、経済界の皆様、そして国の皆様、また関西広域連合の皆様そして大阪府市が一体となり、この未来創造会議が創立されたことを大変喜ばしく思います。

先月末の国の成果検証委員会において、参考資料にもついていますが、この万博のレガシー展開に関して基本方針、3つの柱が示された次第です。

万博で創られたつながりの活用、そして万博を契機とした創造活動の深化・展開、また、夢洲の場の記憶の継承・展開、この3つの柱で取り組んでいくことが確認されました。万博で生み出されたこの成果を一過性のものとせず、ソフト・ハード両面においてレガシーを未来に継承・発信していくことが重要だと思っています。

資料5にも取りまとめていただきました、この最先端技術等の実装化・産業化ですが、現在大阪市としても、例えば先端技術の社会実装の推進を含めたイノベーションを生み出す環境づくりとして、空飛ぶクルマや、また自動運転等、次世代モビリティの実現に向けた取組に加えて、スタートアップの支援機能の強化にも努めています。これらの最先端技術等の実装化については、大阪・関西にとって極めて重要な取組と認識しており、オール関西での連携が非常に重要となります。

本日はキックオフ会議、これを皮切りとして、オール関西でしっかり連携しながら、大阪・関西ひいては日本の持続的な成長に向けて、全力で取り組んでまいりたいと思います。今後とも引き続きよろしくお願いいたします。以上です。

【松本代表】

どうもありがとうございました。それでは、リモートで参加の三日月委員、何かございますか。

【三日月委員】

ありがとうございます。大阪・関西にとって、また日本にとって、また世界にとっても大変重要な未来創造会議が立ち上がったと思っています。関西広域連合としても、構成府県市とともに参画し、皆様と連携してこの取組を推進していきたいと考えています。その意味で2点申し上げます。

1点目は、やはり関西で大阪・関西万博というものが開かれて、先ほど詳しくご説明いただいた最先端技術等の実装化・産業化が進められるということで、まさにわが国有数の企業、教育機関、そして研究開発拠点が集積する関西、関西広域連合としてぜひそれぞれの構成府県市に所在する企業が積極的に参画できるように、広域の視点を持って取組を進めていきたいし、いただきたいというのが1点目です。

2点目は、先ほどお話がありましたように、大阪・関西万博のレガシーとしての取組が行われるとのことなので、もちろん、産業、技術ということも大事ですが、先ほどお話が出ているように、つながりの活用、創造活動ということであれば、文化、芸術、そして先ほど井野副大臣から発言があった日本館の展示内容の継承であれば、環境、代替素材、さらには先ほどの松本代表が冒頭で発言いただいた観光、こういった切り口もこの大阪・関西万博のレガシーとして、未来に向けて創造していけるような取組もとても重要だと思いますので、この点も併せて、次回以降しっかりと具体化していけるように、一緒に取り組んでいきたいと思います。以上です。

【松本代表】

どうもありがとうございました。それ以外に何かございますか。

私も委員として発言させていただきますが、レガシーをどうするかっていうのは、万博の始まる前から、知事とも色々話をしていましたが、ようやく今日、こういう形で進めるということで、皆さんの賛同を得られることが幸せです。

レガシーの内容というのは、まずアイテムというのを決めて、また時間軸というのも非常に重要です。レガシー一つ取ってみても、かなりの労力と、かなりの資金が必要です。レガシーというのはかなり大きなプロジェクトです。たくさんの方が来てくれて万博もよかったと思います。本当に7年も8年も知事とも一緒にやってきましたが、いよいよここでレガシーのスタートラインができたということなので、この委員の中で色々とディスカッションをして、ぜひ大阪・関西の経済の活性化、ひいては日本の経済の活性化に寄与していきたいと思っています。内容については、きちんとまとめて、次のベースにしていきたいと思っています。

それでは、本日の審議、意見交換は以上となります。最後に共同代表に閉会の挨拶をお願いしたいと思います。鳥井共同代表、お願いします。

【鳥井共同代表】

大阪商工会議所の会頭の鳥井です。委員の皆様のご賛同を得まして、本日、万博レガシーを推進する体制が立ち上がったこと、誠に喜ばしく思います。成功裏に終わった万博の真価が問われるのは、むしろこれからが本番です。多様な企業や研究機関がたくさん集積する大阪・関西の強み、そして、万博で深まった共創、ともに創るエネルギー、チャレンジ、イノベーションの機能をしっかりと引継ぎ、皆様とともに大阪・関西の未来を創っていきたくて考えています。本日は本当にありがとうございました。

【松本代表】

それでは、これを持ちまして、未来創造会議を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

【関西経済連合会 関専務理事】

みなさま、ありがとうございました。次回は、5月中旬頃を目途に開催し、実装化に取り組む分野やプロジェクトリーダー等の決定、新たな法人設立に向けたスケジュール等について報告させていただきたいと思います。改めて事務局よりご案内しますので、どうぞよろしくお願いいたします。